

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学実験B		
英文授業科目名	Laboratory on Applied Physics and Chemistry B		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	林(茂)、山崎(典)		
居室	東6-716(林)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hays	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>必須項目。</p> <p>(a) 主題：電気・電子回路の原理を実験を通してより深く理解すること。</p> <p>(b) 達成目標：簡単な回路が組み立てられること、またそれらの動作が解析できること。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
電気・電子回路学、電気・電子回路学演習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教科書：実験テキスト

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>授業の進め方：</p> <p>めいめいが実験卓に分かれて実験を行なう。実験内容はアナログ実験が4、デジタル実験が2である。希望者には特別実験も用意してある。</p> <p>実験週と予習・復習の週とを交互に置く。復習ではプロジェクターを活用して、レポートの批評を行なう。</p>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

--

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

すべての実験を終了し、レポートチェックが終わっていることが合格の必要条件である。レポートの質と完了した実験テーマの量も考慮して成績を決める。必ずしも課題すべてを完了しなければならないことはないが、常識的な下限はある。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。  
また、追加で実験を希望したい場合にも適宜相談に応じる。

### 【学生へのメッセージ】

この授業では、実際に使われる回路部品（つまり秋葉原で入手できるパーツ類）を用いて実験する。その意味で、現実社会と密接な接点をもった授業科目です。

### 【その他】

上記メールアドレスの後ろに@pc.uec.ac.jpをつけて利用してください。